

平成30年度 東区まちづくり推進事業について

(委員提案を踏まえた今後の展開と方針)



今後の事業展開と方向性について

(単位：千円)

事業名	基本方針	経営方針	平成29年度 予 算	平成30年度 予算(案)	今後の方向性
1 東区民まつり開催経費(P2)	①・② ③・⑤		4,000	3,300	継 続
2 東区民文化スポーツ交流事業(P3)	①		411	357	継 続
3 地域コミュニティづくり支援補助金(P4)	①		2,030	2,030	拡大・拡充
4 安全・安心のまちづくり事業(P5)	②		965	437	継 続
5 地域防災合同訓練事業(P6)	②	I	1,440	1,877	拡大・拡充
6 子どもの遊びプランナー養成事業(P7)	③		165	—	統廃合
7 地域課題検討会改善策実施経費(P7)	—		1,000	—	統廃合
8 地域情報発信充実事業(P8)	①		2,295	—	統廃合
9 託麻三山散策ウォーキング(P9)	④		—	625	新 規
10 高齢者がいきいきと暮らせる支援体制づくり(P10)	③	II	1,053	1,417	拡大・拡充
11 子育て支援ネットワーク活性化事業(P11)	③		1,456	365	継 続
12 東区健康まちづくり活性化経費(P12)	③		1,252	593	継 続
13 熊本市子どもの食育推進ネットワーク(東区役所エリア)を活用した食育の推進(P13)	③		894	144	継 続
14 東区地域活性化支援事業(P14)	—	I・II	2,700	3,979	拡大・拡充
15 まちづくり懇話会開催経費	—		339	541	継 続
合計			20,000	15,665	

【まちづくりビジョンの基本方針】

基本方針：①	人と人がつながり世代を越えて語り合えるまち
基本方針：②	誰もが安全で安心して過ごせるまち
基本方針：③	誰もがいきいきと暮らせるまち
基本方針：④	美しい自然を守り育てふれあえるまち
基本方針：⑤	暮らしやすく活気あふれるまち
—	まちづくりビジョンの推進体制

【東区の経営方針】

経営方針：I	誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりを目指し、区の防災力の向上に取り組みます。
経営方針：II	お互いが協力し共に支えあうまちづくりを目指し、地域包括ケアシステムの仕組みづくりを推進していきます。

1 東区民まつり開催経費

予算額：3,300千円

【事業内容】

実行委員会委員からの意見やアイデアを踏まえながら行政主体から地域に密着した祭りとなるように進めていく。



【事業効果】

- 区民としての意識や連帯感を醸成し、区への愛着心の高揚が図られる。
- 実行委員会委員が地域から吸い上げた要望や意見を取り入れることにより、より一層区民に親しまれる祭りとなることが期待される。

委員からの意見・提案

- 他の祭りを参考にしながら事業内容を検証してはどうか。
- 祭りの告知をきちんと行うべきでは。



今後の展開・方針

- 他の祭りを参考にしながら地域からの意見や要望を取り入れることによって、より地域に密着したお祭りにしていく。
- 協賛金や広告掲載を呼びかけることで、祭りの周知につなげ、自主財源を増やす。

2 東区民文化スポーツ交流事業

予算額：357千円

【事業内容】

地域が主体となって行うスポーツや文化交流活動に対して区長賞を授与することにより、地域行事の発展に貢献し、地域内交流を推進していく。



【ミニバレー大会】



【排句大会】

【事業効果】

- 東区内の自治会、体育協会、PTA等が団体間交流を行うことにより、子どもや地域団体の連携意識の向上と自主自立のまちづくりを図ることができる。
- 地域主体で行うスポーツ大会・文化活動等に区長賞として表彰状及び副賞を提供することによって、地域の活性化に寄与することができる。

委員からの意見・提案

- 高齢者などみんなが参加できるようなスポーツも実施してみてもどうか。
- 競技種目を見直してはどうか。



今後の展開・方針

- 子どもや高齢者など誰もが幅広く参加できる競技種目と運営方法を区内体協長会等と協議を行う。
- 区長賞提供の拡大

3 地域コミュニティづくり支援補助金

予算額：2,030千円

【事業内容】

校区自治協議会、町内自治会等が主体的かつ継続的に行う地域課題の解決や地域コミュニティの活性化に向けた取組に対して補助金を交付する。

【主な活動事例】

- 桜木東校区第2町内文化祭
高齢者の生きがいづくりと世代間・新旧住民の交流を図るために子どもから大人まで楽しめるような文化祭を開催した。



【事業効果】

地域課題を解決するための事業を地域自らが企画立案することにより、自主自立のまちづくりの実現に繋げていく。

委員からの意見・提案

- 本制度を更に活用してもらえるよう、まちづくりセンター等を活用して制度の周知に努めてはどうか。



今後の展開・方針

- まちづくりセンターと協力し、当該事業の制度や趣旨を地域の方々に広く周知することによって、より多くの企画提案を募っていく。
- 応募対象を拡大することによって制度活用数の増加を図る。

4 安全・安心のまちづくり事業

予算額：437千円

【事業内容】

安全安心に関する情報共有やパトロール、広報啓発を行うとともにイベント時に防犯や交通安全に役立つグッズを配付することによって区民の防犯・交通安全に対する意識の向上を図る。

- 啓発活動に協力していただいた高校
第二高等学校、東稜高等学校、東海大学付属熊本星翔高等学校
熊本学園マリスト高等学校



【高校生との協働による啓発活動】

【事業効果】

- ・区民の防犯、交通安全に対する意識の向上に寄与する。
- ・のぼり旗を掲出し、集中的にパトロールや街頭広報を行うことにより、視覚的効果をもって地域や各種団体の交通安全・防犯の意識を高める。

委員からの意見・提案

- ・高齢者への啓発や若い世代の参加を促すための工夫が必要ではないか。



今後の展開・方針

- ・高齢者への啓発
東警察署や校区防犯協会と連携しながら交通事故防止や特殊詐欺被害防止のための啓発を行う。
- ・参加を促すための工夫
キャンペーンや街頭広報などの体験活動を通じて防犯・交通安全に対する意識付けを行うことによって若い世代の参加を促していく。

5 地域防災合同訓練事業

予算額：1,877千円

【事業内容】

各町内単位で実施している防災訓練を、突発的かつ大規模な災害（震度6弱以上の地震等）が発生したとの想定で、校区全体で訓練を計画し、地元と行政が合同で訓練を行なう。



【地域防災訓練】

【事業効果】

- 訓練で得た教訓等を生かすことによって、今後の地域防災力の向上に繋げることができる。
- 地域と行政が連携した防災訓練を行うことで、災害に対する地域住民の防災意識も高まり、地域コミュニティの形成に寄与することができる。

委員からの意見・提案

- 実態に即した訓練を実施してほしい。
- 訓練を実施した校区が実施していない校区にノウハウ等をアドバイスしてほしい。



今後の展開・方針

- 大規模災害にも円滑に対応できるよう防災訓練を実施していく。
- 1年に9校区ずつ実施し2ヵ年で18校区実施する。また、校区防災訓練を実施しない年は、町内単位の訓練を地域で企画・立案・運営することで地域防災力の向上を図る。

6 子どもの遊びプランナー養成事業

【事業内容】

子どもが野外で活動する力を育み、また、地域の異世代との交流を通じて人間関係を広げることを目的とした活動をサポートするためのプランナーを養成する事業。

委員からの意見・提案

- 自主自立のまちづくりを推進するため、地域コミュニティづくり支援補助金などの制度へ統廃合してもよいのでは。



今後の展開・方針

- 地域主体の企画立案を促すことで自主自立のまちづくりを地域へ浸透させていくために、地域コミュニティづくり支援補助金（P4）へ統廃合する。

7 地域課題検討会改善策実施経費

【事業内容】

地域課題検討会において検討した課題の改善策に取り組む団体に支援を行う。

委員からの意見・提案

- 地域担当職員が悩みを聞いて、課題に対してアドバイスをしてはどうか。
- 他制度への移行を含めて、地域課題の収集の仕方や解決方法を見直してはどうか。



今後の展開・方針

- 地域担当職員の配置によって地域課題やニーズに対してきめ細やかな対応が可能になったことから、地域が抱える課題の解決に対する取り組みを支援する事業である「東区地域活性化支援事業」（P14）へ統廃合する。

8 地域情報受発信充実事業

【事業内容】

広報サポーターと協働により区だよりやホームページ、フェイスブックなどを活用して区や地域の情報を提供する。

委員からの意見・提案

- 各世代に応じた内容を記載するべきでは。
- SNS等の活用も検討するべきでは。



今後の展開・方針

- 区だよりに替え、**民間の広報媒体を活用**する。
(市全体で民間の広報媒体を活用する)
- 地域担当職員が地域で広く活動している方等と協力しながらSNS等を用いて地域の情報を発信していく。

9 託麻三山散策ウォーキング

予算額：625千円

【事業目的・概要】

区内の小学生から高齢者までを対象に、託麻三山の史跡、文化、自然とふれあいながら、地域の歴史に対する意識を深めるためのイベントを実施する。



【事業効果】

- ウォークラリーを楽しみながら、託麻三山を広く認識していただくとともに、地域の歴史を知る機会に繋げていく。
- 区民としての意識や連帯感を醸成し、区への愛着心の高揚が図られるとともに、子どもから高齢者までの世代間交流を促進させることができる。
- イベントを開催することで、美しい自然を維持するといった環境の美化意識の向上にも繋げることができる。



10 高齢者がいきいきと暮らせる支援体制づくり

予算額：1,417千円

【事業内容】

高齢者が（誰もが）住み慣れた地域で安心して暮らしていける地域社会を目指す中特に喫緊の課題である認知症とその家族を地域で支える環境づくりを推進する。

【実施内容】

- ◎認知症シンポジウムの開催
- ◎認知症サポートリーダー養成講座・認知症サポート実践ケア研修
- ◎徘徊模擬訓練実施校区支援



【認知症徘徊模擬訓練】

【事業効果】

- ・講座や研修会等の開催によって、認知症の理解の浸透と認知症に対する対応能力の向上が図られる。
- ・サポーターに活動の場を提供することで、サポーターの更なる増加が見込まれる。
- ・認知症徘徊模擬訓練等、認知症に関する普及・啓発活動をより実践的・具体的に取り組むことによって、高齢者が住み慣れたまちで安心して暮らせるまちづくりにつながる。

委員からの意見・提案

- ・学校と連携するなどして地域での認知症サポートを広げていくべき。
- ・認知症徘徊模擬訓練を多くの校区で実施してほしい。
- ・家族や町内の理解を向上させるような事業展開を行うべき。



今後の展開・方針

- ・今後も講座・研修会を通じて認知症サポートが可能な人材を養成していく。（平成31年度まで認知症サポーター数各年1,000人の養成）
- ・まちづくりセンター所管校区1校区ずつの開催を目標とする。
- ・地域住民を対象としたシンポジウムを開催し、より一層の理解促進に努める。

11 子育て支援ネットワーク活性化事業

予算額：365千円

【事業内容】

「あつまっぶる」の取り組みに関する評価や「防災リーフレット」を活用した防災教育、子育て世代の参画によるネットワーク活動への展開に関する事項等を東区子育て支援ネットワーク運営委員会、各校区子育て支援ネットワーク等で協議し、区や校区単位の子育て支援ネットワーク活動の活性化を図り、安全・安心して子育てができるまちづくりをさらに推進していく。



あつまっぶるの活用



防災リーフレットを活用した防災講座

【事業効果】

- ・停滞中の校区ネットワーク活動の再開など活動が活性化する。
- ・校区ネットワーク間の相互協力や校区での主体的な子育て支援活動の展開につながる。
- ・「あつまっぶる」取り組みの評価を次年度以降の活性化事業の展開に活用できる。
- ・防災講座の継続により、若い世代の防災意識が高まり、地域の防災力が向上する。
- ・子育て世代のネットワーク活動参画により、地域での子育て支援が更に充実し、若い世代の人材育成につながる。

委員からの意見・提案

- ・実践的な支援活動に力を入れてみてはどうか。



今後の展開・方針

- ・前年度に作成した「活動事例集」を校区ネットワーク活動活性化に活用する。
- ・ネットワークの相互協力体制により、東区のネットワーク活動全体の活性化を図る。
- ・自分の子どもや地域の子どもを災害から守り、生きる力を高めるための防災講座を継続する。
- ・ネットワーク運営委員会の活動に参加・参画できる人材の発掘。 他

12 東区健康まちづくり活性化経費

予算額：593千円

【事業内容】

東区の健康まちづくりを推進する人材養成と自主活動を支援することによって、健康を切り口とした自主自立のまちづくりを進めるとともに、地域包括ケアシステムの推進にも貢献していく。

「東区健康まちづくり推進員養成事業」

「東区健康まちづくり推進員活動支援事業」



○健康まちづくり推進員養成事業の様子

【事業効果】

- ・ 東区住民の健康意識の醸成。
- ・ ボランティア活動を通じた、自主自立のまちづくりの推進。
- ・ 地域包括ケアシステム構築における人的資源。



○健康まちづくり推進員による啓発活動

委員からの提案

- ・ 養成した健康まちづくり推進員の活躍の場を提供するべきではないか。



今後の展開・方針

- ・ 健康まちづくり推進員の継続的な養成及び健康まちづくり推進員協議会の自主運営を支援する。またスキルアップ研修等を通して活動内容のレベルアップを図り、地域活動とのつながりを強化し、健康まちづくり活動を推進する。
- ・ 東区18校区に活動できる推進員を養成。食生活改善推進員や8020推進員、東区健康を区民とつくるボランティア医師・歯科医師の会（とんぼの会）等各健康づくりに関わるボランティア組織との連携を図り、地域との協働による活動の企画・運営を支援する。

13 熊本市子どもの食育推進ネットワーク（東区役所エリア）を活用した食育の推進

予算額：144千円

【事業目的】

熊本地震の経験を活かし、非常災害時に必要な備えや情報をまとめ、共有していくことで災害に強い食育の地域づくりを推進する。

【事業効果】

- ツールを使って啓発することによって、「災害時の食の備えをしている」区民割合が増え、安心安全なまちづくりができる。
- 食の備えをしている区民の割合が増える。

委員からの意見・提案

- 専門性の高い大学と連携してはどうか。
- 「災害」に限定するのではなく食育自体の重要性を訴えていくべき。



今後の展開・方針

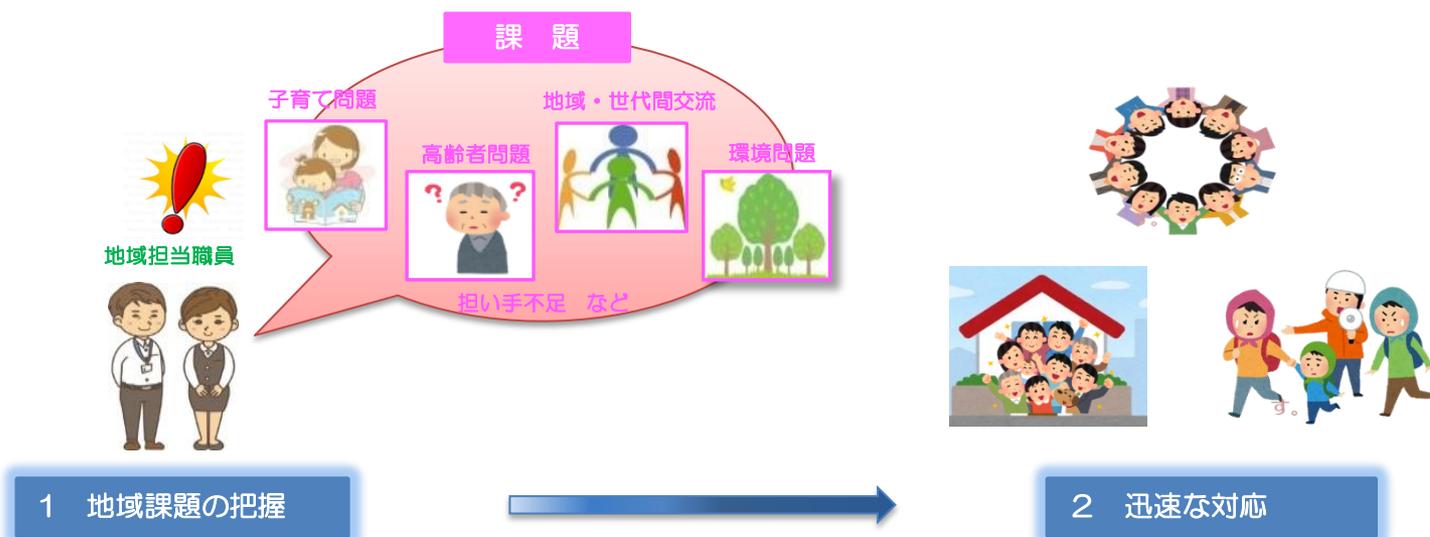
- より専門性が高い食育活動を展開している「食育推進プロジェクト」（熊本県立大学）のプロジェクトリーダー等と、効果的な食育推進について連携することも検討したい。
- 災害に限定せず、平常時からの食育の普及啓発を推進することで、災害時にも強い地域づくりを目指す。災害発生時は、配給を待つのではなく、自ら備えていた食糧をもとに工夫し、健康的な食べ方が継続できるようなスキル（基本的な食と栄養の知識や自炊力）を身につけることを目標とし、事業を展開する。また、「おいしく食べる」ためにも重要である歯科保健分野と連携を強化し、だ液やそしゃくの大切さを食育推進活動メニューに加え、展開していく。

14 東区地域活性化支援事業

予算額：3,979千円

【事業概要】

自主自立の地域づくりを目指し、地域が抱える課題の解決に対する取り組みを支援する事業。
地域担当職員が各地域（校区等）が、各地域が直面している課題や、今後顕在化することが見込まれる将来的な課題を把握し、地域や関係部署と連携して迅速に解決に取り組む。



【取り組み例】

地域からの要望相談や、今後顕在化が見込まれる地域課題を把握する。

【取り組み例】

集いの場の立ち上げ支援、防災力向上のための研修会、担い手確保の仕組みづくり、ファシリテーターの養成、若い世代の地域活動参加促進など

【事業効果】

地域の特性や住民の取り組み状況に応じた地域に寄り添った地域活動を柔軟に支援することによる地域力の向上又は自主自立のまちづくりの促進

14-1 東区地域活性化支援事業（託麻まちづくりセンター分）

【事業概要】

託麻管内6校区（託麻東・託麻西・託麻南・託麻北・西原・長嶺）の地域課題を解決するための経費。

●想定される内容（例）

「地域の集いの場」への支援



【事業内容】

地域の人誰もが気軽に集える場（地域の縁がわ等）の立ち上げや、その運営に対して支援をする。

【事業効果】

地域住民同士「顔の見える関係」を強化していくことで、地域包括ケアを推進させる。

校区単位の防災研修会の開催



【事業内容】

校区単位で避難所運営ゲームなどの研修会を実施する。

【事業効果】

研修会を通し、地域防災力を向上させることで、いつ起こるか分からない災害に備える。

ゆるやかな地域活動サポーターの育成



【事業内容】

「できる人が、できる時に、できる事を」をモットーとする、ゆるやかな地域活動のサポーターを育成する。

【事業効果】

地域活動の担い手不足を解消させる。

14-2 東区地域活性化支援事業（秋津まちづくりセンター分）

【事業概要】

秋津管内4校区（秋津・桜木・桜木東・若葉）の地域課題を解決するための経費。

●想定される内容（例）

防災フェスタの開催



【事業内容】

NPO法人、ボランティア団体、消防等の関連団体と連携して、住民の防災意識の啓発を図る。

【事業効果】

地域防災力を向上させることで、いつ起こるか分からない災害に備える。

ファシリテーターの養成



【事業内容】

ささえりあ及び地域の事業所が中心となり、地域住民と連携してまちづくりについて考える「ミナサンカ」を支援する。

【事業効果】

地域のさまざまな世代の人と人をつなげる機会（ミナサンカ）を支援することにより、地域包括ケアの推進を図る。

校区の町内割入地図作成



【事業内容】

町内及び校区の境界を画定し、著作権フリーの校区の町内割入白地図を作成し、自治会等に配布する。

【事業効果】

防災・子育て・要援護者把握等、目的に応じた電子地図の作成が可能となり、地域活動に寄与する。

14-3 東区地域活性化支援事業（東部まちづくりセンター分）

【事業概要】

東部管内8校区（画図・健軍・健軍東・泉ヶ丘・尾ノ上・東町・月出・山ノ内）の地域課題を解決するための経費。

●想定される内容（例）

中学生会議



【事業内容】

中学生が、ワークショップを通じて、地域を知り、地域のために自分ができることを考え、課題解決策を検討する。

【事業効果】

「地域」を考える体験を通じて、地域社会の一員として自覚を持ち、郷土愛を深める。

子ども会活性化支援



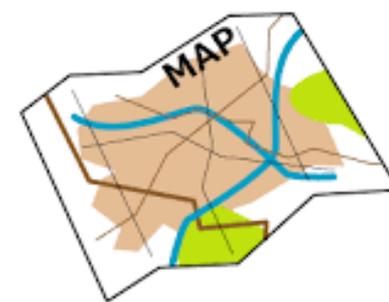
【事業内容】

子ども会活動の目的を明確化し、現在の取り組みを検証するワークショップを通じて、子供会活動の活性化を促進する。

【事業効果】

子ども会活動の充実。
役員への負担感軽減。

校区の町内割入地図作成



【事業内容】

町内及び校区の境界を画定し、著作権フリーの校区の町内割入白地図を作成し、自治会等に配布する。

【事業効果】

防災・子育て・要援護者把握等、目的に応じた電子地図の作成が可能となり、地域活動に寄与する。